

誤嚥性肺炎患者における口腔機能評価(OHAT-j)と栄養状態の関連

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

経口摂取により十分な栄養を確保するためには、口腔機能の維持は重要です。Oral Health Assessment tool (OHAT)はオーストラリアの歯科医師 Chalmers らによって開発・報告された口腔評価方法であり、当院では2021年11月頃よりOHATの日本語版であるOHAT-jを用い、口腔評価の運用を開始しています。この研究は誤嚥性肺炎の患者さんについて入院時のOHAT-jと入院後の栄養状態の推移に関連があるか観察し、入院時の栄養評価方法の改善など、今後の栄養管理へ活用できるか検討することを目的としています。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2021年12月～2023年4月に当院に誤嚥性肺炎にて入院した方

使用する試料・情報

年齢、性別、合併症、OHAT-jの点数、経口摂取開始の有無、血清Alb値、体重など

研究予定期間

2023年6月6日～2024年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 栄養部 溝内 万里奈

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 栄養部 溝内 万里奈

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)